

名称 HDGEC (Human Dimensions of Global Environmental Change)

日本語名 地球環境変容の人間の側面の研究計画

親機関 UNESCO

住所 IFIAS, 39 Spadina Road, Toronto, Ontario Canada M5R 2S9

国名 CANADA

電話 1-416-926-7570

ファックス 1-416-926-9481

#### 1. タイプ：国際的研究計画

#### 2. 地理的範囲：世界

#### 3. 目的

国際的なHDGEC計画は、社会科学分野のリソースと人間活動の管理から得られた専門性を気候変動の分析と理解に生かす全球計画を立案し、実施するために提案された。物理科学分野において始められた同種のプログラムに対して人間科学分野において地球規模に社会、経済、政策科学者と法律、健康、科学・技術の応用を含む人間活動の管理者が参加し、国際的活動の基礎となる情報や研究成果の総合化が必要であることが認識された。

この計画の目的は、1988年9月に東京で開催された国際シンポジウムで設定されている。

- (1) 地球システムと人間の相互作用を支配する複雑な動態について科学的理解を進め、認識を増大させる。
- (2) 地球環境に影響する社会変化を研究し、探索し、予測する能力を強化する。
- (3) 地球規模の変化の悪影響を防止し、緩和する。幅広い社会的戦略を立て、不可避な変化にも適応する。
- (4) 地球規模の環境変化に対して持続可能な開発という目標を促進するための政策オプションを分析する。

これらの目標を達成するために、研究計画は次のような活動方針をもっている。

- (1) 科学者と関係団体の地球規模のネットワークを形成する。このネットワークを活用して地球生態系と人間との相互作用の研究を実施する。
- (2) 目的にそう中核的な計画を選択する。
- (3) 研究計画を実行するために必要な情報システムと方法論を開発する。
- (4) 気候変動の人間への影響を強調し、審美的、文化的、法慣習とフレームワークを開発する。
- (5) 研究成果を解釈し、政策関連項目に解釈する際に評価する手順と技術を提案する。
- (6) 地球環境に関する著しい効果をもつ、人間活動に貢献する教育的努力を推進する。

世界規模で生じている物理変化の科学的評価を行うIGBPの点からも、Human Dimension Program は、IGBPに対して補完的に働く。

#### 4. データ管理： — — —

5. 協力関係： ---

6. 参考文献

HDGEC, 1989-1990: Activities and Prospects.

7. その他

HDGEC設立の経緯は以下の通り。

1980-84

生物圏において人間活動の持続可能性を脅かす環境変化が進行しているという科学的合意がなされた。

1984-86

ICSUによって気候変化の主要な国際プログラムを開始するための準備期間。

1984-87

多くの個人や機関がICSUに対しIGBPの範囲が社会・経済、政策科学（人間科学）を含むよう拡大すべきことを表明した。

1987

6月に国際的研究機関のアドホック会合がIFIAS（International Federation of Institutes for Advanced Study）によりトロントで開催された。会合において、IFIAS、ISSC（International Social Science Council）とUNU（United Nations University）がIGBPと並行かつ補完するプログラムを開発するために協力することに合意した。仮に、Human Response to Global Change Programmeと名付けられ、暫定的な運営委員会が設立された。

1987-88

東京において国際シンポジウムが開催され、それまでの進展状況をレビューし、将来の作業グループの活動を明確にするためにUNCの協力を得た。

1988.10

暫定運営委員会が6つの作業グループと計画を設置することを発表した。それらは、（1）全球の気候変動、（2）最も脆弱な人や場所のニーズ、（3）全球のリスクアセスメント、（4）工業の再編成とメタボリズム、（5）気候変動の法律、審美的、制度的被害、（6）分析・モデル化やデータ要求の方法である。

1989-90

この期間の活動については、参考文献に挙げた報告で述べられている。